

4. 人文学研究所

【現状説明】

本研究所は、1963年に本学の附属研究機関として設立された。人文学は、哲学、思想、文学、言語学、歴史学、社会学、心理学、宗教学、教育学、人類学など多岐にわたる。本研究所の設立主旨は、これらの分野を研究・教授する教員が学問的交流を通じて、研究テーマの拡大並びに掘り下げを行うことであった。それゆえ、設立当初から研究所の活動の中心は所員の共同研究に置かれた。研究の主対象は比較文化であり、西洋精神史と日本文化論が大きな柱とされてきた。

本研究所は「神奈川大学人文学研究所規則」に従って運営されている。本研究所の目的については、同規則第2条が、「人文学研究所は、人文学一般の研究・調査を行い、かつ、これを発表することを目的とする。」と定めている。また、同規則第3条は、本研究所の事業内容について、「研究所はその目的を達成するために、次の事業を行う。」と定めている。

- (1) 人文学に関する研究及び調査
- (2) 研究資料の収集及び整理
- (3) 研究及び調査による次の各種刊行物の発行
 - ① 研究所年報の発行
 - ② 研究所シリーズの発行
 - ③ その他の刊行物の発行
- (4) 研究会・講演会・セミナー及び座談会等の開催
- (5) その他研究所の目的を達成するために必要な事項

本研究所の上述の目的並びに事業内容については、本研究所のホームページ及び研究紀要『人文学研究所報』に記載している。

【点検・評価】

本研究所は、人文学を研究する本学専任教員112名が学部学科を横断するかたちで所員となっている（任意登録制）。また、共同研究の必要に応じて「特別研究員」を受け入れている。さらに、研究図書や叢書の出版などの面で共同研究を奨励・援助している。以上の結果、所員にとって相互に知的刺激を得やすく学際的研究を推進しやすいシステムができあがっている。

本研究所には、事務室（兼図書資料室）1、図書資料室（兼閲覧室・会議室）1、書庫1があり、そこに約22,300冊の図書、180種以上の研究雑誌、DVD・マイクロ資料を分類・整理のうえ配置し、所員の利用に供している。資料収集については、研究資料としての価値が高く、本学図書館の所蔵資料と重複しないものを収集することを方針としている。本研究所所蔵の資料は本学図書館OPACにすべて登録されているので、OPACから検索可能である。これらの諸点については、資料の配置場所が不足であることを除けば、大きな問題はない。

本研究所で共同研究が活発に営まれてきたことは、共同研究成果の発表媒体である『人文学研究叢書』が1983年以来毎年1冊ずつコンスタントに出版され続けてきたことに表れている。また、所員個人の研究が活発に営まれてきたことは、個人研究の発表媒体である研究所紀要（『人文学研究所報』）が1965年以来毎年1冊ずつコンスタントに発行され続けてきたことに表れている。なお、研究所紀要については、2004年度版以後内容を電子媒体化しインターネット経由で閲覧可能にしておき、国内外から月数千のアクセスがなされている。これらの点は全体的に順調であると判断される。

本研究所では、1991年から2001年まで中国の浙江大学日本文化研究所との共催で毎年

シンポジウムを開催した。その後も、開催形態を変えて、頻繁にシンポジウムを開催している。講演会についても、毎年数回の講演会を開催してきた。これらの点についても、概ね順調であると思われる。

本研究所は独自のホームページを持ち、研究所の目的ならびに活動をインターネット経由で国内外に発信している。ホームページでは、研究紀要の内容をPDFファイルで公開しているほか、シンポジウムや講演会の案内、研究グループの活動など、最新の情報を提供している。これらの点についても、概ね順調と判断される。

研究の国際的連携について言えば、本研究所は中国との学术交流には10数年の伝統があり、その成果は上記浙江大学日本文化研究所との共同開催シンポジウムや共同編纂論集（『中日文化論叢』第1号～第10号）に具現されてきた。しかしながら、本研究所には欧米圏に恒常的な学术交流先が存在しないので、その点については改善の必要がある。

【 改善方策 】

本研究所資料の配置場所が不足している点については、本学全体の施設のあり方に関わる問題であって、本質的に一研究所として解決の付くことがらではない。しかし、当面の措置として、資料室（兼会議室、兼閲覧室）の書架をスライド書架に変更するための予算申請をする予定である。

上記項目で触れたとおり、本研究所には欧米圏に恒常的な学术交流先がないという欠点がある。その点については、第一歩として、2009年9月にイタリア国立ヴェネツィア大学の東アジア学科との間で学术交流としてシンポジウムを開催するべく準備中である。